

日本植物形態学会第 34 回総会議事録(案)

日時：2022 年 9 月 16 日 12:10～13:00

場所：京都府立大 歴彩館

1. 会長挨拶（野崎会長）
2. 大会長挨拶（西村大会長）
3. 総会議長選出（林庶務幹事）  
高野会員が選出された。

\* 以後の議事進行は選出された議長が行う。

#### 4. 報告事項

- (1) 庶務報告（2021 年度大会（東京）報告を含む）（林庶務幹事）  
会員数 259 名（一般 193 名，学生 66 名 2022.09.05 現在）の報告、例年 250-260 人程度の会員が在籍。  
会費を払っていない会員もいるので、大会が終わり次第整理する。2021 年度の活動説明を行った。
- (2) 編集委員会報告（稲田編集委員長）  
昨年度まで Plant Morphology の印刷を行っていた正堂加藤の廃業に伴い、今年度からイセブ社に印刷を依頼した。退会手続きを忘れた学生がおり、その分学会誌を余分に印刷して、廃棄している現状なので卒業生には退会手続きを進めてほしい。資料の Plant Morphology 32→33 に修正。
- (4) 広報委員会報告（秋田広報委員）  
HP への積極的な投稿を呼びかけた。
- (5) 会計報告（2021 年度決算）／会計監査報告（三角会計幹事／野口会計監査）  
昨年度の収入についての報告を行った。繰越金 1,380,555 円、学会費収入、別刷代収入について報告。  
昨年度の支出についての報告を行った。Plant Morphology 関連、学会 3 賞関連、大会支出(去年はオンライン開催だったので会場費等不要、植物学会大会への広告費のみ)、事務費、生物科学学会連合関連費について報告。次年度繰越金は 1,446,681 円  
会計監査（野口会員）報告を行った。オンラインで三角会計幹事と共に会計監査を行った。適性に行われていることを認めた。
- (6) 3 賞選考要領について（林庶務幹事）  
本年度から選考要領に細則を付記した。今年度の総会で選考要領を変更せず、今年度のやり方で来年度も行う予定。細則の文言については来年度までに見直す。
- (7) 3 賞選考結果について（酒井選考委員長）  
3 賞選考過程、各賞受賞理由を説明した。
- (8) 雑誌 Plant Morphology の今後について（林庶務幹事）  
Plant Morphology の今後について話し合う WG を作成した。  
次年度総会の前に決定して良い案が出てきたら臨時の評議委員会で決定する予定。  
追加意見（野崎会長）：大きな変更がある場合は臨時総会を開くが大きい場合は臨時評議委員会で決定する。
- (9) 2022 年度大会（京都）について（林庶務幹事）  
2022 年度大会の開催の経緯を説明。
- (10) 2023 年度大会（北海道）について（林庶務幹事）  
2023 年度大会の開催予定を説明した。大会長として長里千香子会員（北海道大）、実行委員長として檜本悟史会員（北海道大）から内諾をもらっている。

## 5. 審議事項

### (1) 2022 年度事業計画案について（林庶務幹事）

2022 年度計画案を説明し、全員賛成で承認された。

### (2) 2022 年度予算案について（岩元会計幹事）

2022 年度予算案について説明した。

今年度はハイブリッドなので、大会参加費の収入がある。支出は例年通りの支出項目。繰越金は 1,518,280 円の子定だが、会費が変動するので実際にはどうなるかわからない。全員賛成で承認された。